

本気で考える不登校—教職員が今、 気づいてやるべきことはコレだ！

不登校児童生徒の増加が続いています。一方で、不登校の子どもを受け入れる「学びの多様化学校」や校内サポートルームの整備も進んでいます。さらに、次期学習指導要領では「多様性」が重要なキーワードになる可能性があり、学びの多様化が一層求められています。しかしながら、学校現場では、学級の中で子どもと教師が対話を重ねながら授業を進め、係活動や学校行事といった集団的な教育活動も大切にされています。こうした学校の営みの中で、どのように多様性を包摂し、学びを多様化していけばよいのでしょうか。また、教師には何が求められているのでしょうか。本セミナーでは、これらの問いに焦点を当てます。理想論にとどまらず、「今、現場でできること」に目を向け、率直な意見交換を行いたいと考えています。

2026
10.31 (土)
14:00~16:50



宮坂 麻子

朝日新聞編集委員

1992年朝日新聞社入社。文部科学省担当をはじめ、不登校、いじめ、インクルーシブ教育、教育政策や授業改革、STEAM教育、子どもとデジタル・AIなど、30年以上にわたり、教育分野を幅広く取材してきた。



谷山 大三郎

スタンドバイ株式会社代表取締役

いじめ被害相談アプリの開発、健康観察アプリ・シャボテンログの開発。教育委員会と連携し、いじめ・不登校の解決・予防に取り組む。



盛岡 栄市

大阪市心成中学校 校長

昭和62年大阪市立中学校の数学科教員として入職。教頭経験の後は教育委員会事務局 中学校教育担当課長第4教育ブロック担当部長を歴任。令和5年度には大阪市ではじめての学びの多様化学校設置準備室の室長の任に就く。令和6年度に開校した大阪市立心成中学校の初代校長となり現在に至る。



井上 賞子

松江市立島根小学校教諭

島根県公立小学校教諭、特別支援教育士。通常学級で教えた後、2001年度から通級指導教室、特別支援学級を担当。学びにくさのある子への支援教材をアナログ、デジタル両方で開発。全国の学校や教育委員会、教員の勉強会などで講演。



水野 治久

大阪教育大学副学長・教授

博士（心理学）、公認心理師、学校心理士SV、臨床心理士。学校心理学を専門とする。不登校の児童・生徒の支援に長く関わってきた。近年は「SOSの出し方教育」に取り組んでいる。

スケジュール

- 14時 開会挨拶 趣旨説明
14:10~15:30 (一人20分) 話題提供
14:10~ 不登校の取材から見た、教員にできること
朝日新聞編集委員 宮坂麻子
14:30~ ギガスクール端末で可能になる不登校・いじめ予防
スタンドバイ株 谷山大三郎
14:50~ 特別支援の視点からの不登校の予防
松江市立島根小学校 井上賞子
15:10~ 学びの多様化学校から見える先生方への提案
大阪市立心成中学校校長 盛岡栄市
<10分休憩>
15:40~ 指定討論（水野治久）から、
「教職員が今気づいてやるべきことはコレだ！」
の観点から質問・コメント
15:55~ 質問討論者へのリプライ
16:30~ フロアとのディスカッション(〜16:50終了予定)

対象・定員等

教育委員会関係者・学校関係者
学校支援人材・一般の方

●参加形式：対面・Zoom併用
(定員 対面：40名 Zoom：500名)

会場・アクセス

大阪教育大学 天王寺キャンパス
みらい教育共創館 3階 未来型教室

JR天王寺駅、地下鉄天王寺駅、
近鉄大阪阿部野橋駅下車、約650m
JR寺田町駅下車、約400m

申込方法

以下のURLもしくはQRコードより、申込みフォームにアクセスしてください。

(対面) <https://forms.gle/Dqsw2b21Svf37J2R6>

(Zoom) <https://t.asahi.com/wquq>

※朝日新聞社先生コネクトへのページに遷移します。

※Zoom参加のお申込みには先生コネクト会員の登録（無料）が必要です。

※Zoom参加の申込メ切は、10月31日（土）13時です。



(対面)



(Zoom)



【お問い合わせ先】

大阪教育大学みらい教育共創館事務室

Mail: mirai@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

申込期限(対面参加) **10月26日(月)まで**

(定員に達し次第締切り)